



## 2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月15日

上場会社名 株式会社 松屋

上場取引所 東

コード番号 8237 URL <http://www.matsuya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 秋田 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 総務部コーポレートコミュニケーション課 課長 (氏名) 関 泰程

TEL 03-3567-1211

四半期報告書提出予定日 2020年7月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	6,999	69.5	959		939		2,717	
2020年2月期第1四半期	22,945	1.7	290	26.3	275	26.5	172	40.6

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 2,347百万円 ( %) 2020年2月期第1四半期 516百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	51.21	
2020年2月期第1四半期	3.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	54,564	18,416	33.8	346.89
2020年2月期	57,823	20,897	36.1	394.09

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 18,416百万円 2020年2月期 20,877百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		3.50		4.50	8.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年2月期の期末配当金の内訳 普通配当 3円50銭 記念配当 1円00銭  
2021年2月期の配当予想については未定です。

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

2021年2月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において、合理的に算定することが困難なことから、未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	53,289,640 株	2020年2月期	53,289,640 株
期末自己株式数	2021年2月期1Q	198,794 株	2020年2月期	314,394 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	53,058,177 株	2020年2月期1Q	52,975,251 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	3
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	7
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(追加情報)	8
	(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(2020年3月1日～2020年5月31日)におけるわが国経済は、現政権下での総合経済対策による景気減速への対応が進む一方、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化しており、極めて厳しい状況のうちに推移いたしました。

百貨店業界におきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、営業時間の短縮や臨時休業を余儀なくされ、東京地区百貨店売上高は前年実績を大幅に下回りました。

こうした状況の中、当社グループでは、前3ヵ年計画の反省と成果を踏まえつつ、2019年11月に創業150周年を迎えた本3ヵ年は、「中期経営計画『デザインの松屋』(2019～2021年度)」において、当社が世の中に対して実現したいことを「デザインによる、豊かな生活。」であると定め、その実現に向けた重点施策に取り組み、業績の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,999百万円と前年同四半期に比べ15,946百万円(△69.5%)の減収となり、営業損失は959百万円と前年同四半期に比べ1,250百万円の減益、経常損失は939百万円と前年同四半期に比べ1,215百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,717百万円と前年同四半期に比べ2,889百万円の減益となりました。

#### <百貨店業>

百貨店業の銀座店では、中期経営計画の重点施策の下、個性的な百貨店「GINZA スペシャルティストア」のさらなる進化を推進すべく、当第1四半期におきましては、2019年秋に実施いたしました2階インターナショナルブティックをはじめとした改装の効果を高めつつ、引き続き、他フロアとの品揃えのグレードとテイストの統一と、さらなる利便性と買廻り性の向上に尽力してまいりました。

しかしながら、4月上旬の政府による新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急事態宣言の発出、さらには、5月上旬の緊急事態宣言期限延長等を受け、銀座店・浅草店ともに臨時休業を余儀なくされました。なお、銀座店においては5月25日より食品フロアのみ営業を再開いたしました。

以上の結果、百貨店業の売上高は5,338百万円と前年同四半期に比べ15,554百万円(△74.4%)の減収となり、営業損失は756百万円と前年同四半期に比べ1,108百万円の減益となりました。

#### <飲食業>

飲食業のアターブル松屋グループにおきましては、主力となる婚礼宴会部門において、「東京大神宮マツヤサロン」を中心に婚礼組数の獲得に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受け、婚礼・宴会の中止等が相次ぎ、売上高・営業利益とも前年を下回りました。

以上の結果、飲食業の売上高は986百万円と前年同四半期に比べ316百万円(△24.3%)の減収となり、営業損失は168百万円と前年同四半期に比べ104百万円の減益となりました。

#### <ビル総合サービス及び広告業>

ビル総合サービス及び広告業の(株)シービーケーにおきましては、新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受け、宣伝装飾部門、ビルメンテナンス部門の受注案件等の縮小を余儀なくされ、売上高は前年を下回りました。しかしながら、休業期間の一部の固定費等を特別損失に計上したことにより、営業利益は前年を上回りました。

以上の結果、ビル総合サービス及び広告業の売上高は1,073百万円と前年同四半期に比べ180百万円(△14.4%)の減収となり、営業利益は25百万円と前年同四半期に比べ29百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、3,259百万円減少し54,564百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金2,707百万円の減少等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ、778百万円減少し36,147百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金5,523百万円の減少、借入金4,789百万円の増加等によるものであります。純資産合計は利益剰余金2,955百万円の減少等により、2,480百万円減少し18,416百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難なため、引き続き未定とさせていただき、今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

また、上記の通り2021年2月期の業績予想を未定とすることから、配当予想につきましても未定とし、2021年2月期の業績予想の算定が出来次第、改めて開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,164	1,899
受取手形及び売掛金	3,644	937
たな卸資産	2,080	2,206
その他	1,587	735
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	9,474	5,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,936	10,921
土地	18,102	18,102
その他(純額)	397	507
有形固定資産合計	29,436	29,531
無形固定資産		
借地権	9,379	9,379
その他	389	530
無形固定資産合計	9,769	9,909
投資その他の資産		
投資有価証券	7,395	7,589
その他	1,758	1,768
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	9,142	9,346
固定資産合計	48,348	48,788
資産合計	57,823	54,564
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,550	1,026
短期借入金	8,021	12,990
未払法人税等	89	18
賞与引当金	179	336
商品券等回収損失引当金	394	389
ポイント引当金	85	75
その他	5,225	4,810
流動負債合計	20,545	19,648
固定負債		
長期借入金	13,475	13,295
環境対策引当金	29	29
退職給付に係る負債	795	789
その他	2,080	2,384
固定負債合計	16,380	16,498
負債合計	36,925	36,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,132	7,132
資本剰余金	5,482	5,411
利益剰余金	6,973	4,018
自己株式	△428	△252
株主資本合計	19,160	16,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,013	2,406
退職給付に係る調整累計額	△296	△298
その他の包括利益累計額合計	1,717	2,107
非支配株主持分	20	—
純資産合計	20,897	18,416
負債純資産合計	57,823	54,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	22,945	6,999
売上原価	17,744	5,245
売上総利益	5,201	1,753
販売費及び一般管理費	4,910	2,713
営業利益又は営業損失(△)	290	△959
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	16
債務勘定整理益	38	41
受取協賛金	18	18
持分法による投資利益	4	5
その他	18	11
営業外収益合計	100	94
営業外費用		
支払利息	52	56
商品券等回収損失引当金繰入額	46	10
その他	16	6
営業外費用合計	115	73
経常利益又は経常損失(△)	275	△939
特別損失		
固定資産除却損	14	12
減損損失	—	67
投資有価証券評価損	—	351
臨時休業による損失	—	1,330
その他	0	—
特別損失合計	14	1,761
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	261	△2,701
法人税、住民税及び事業税	18	3
法人税等調整額	72	32
法人税等合計	90	35
四半期純利益又は四半期純損失(△)	170	△2,737
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	172	△2,717

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	170	△2,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△697	392
退職給付に係る調整額	10	△2
その他の包括利益合計	△686	390
四半期包括利益	△516	△2,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△514	△2,326
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大及び政府による緊急事態宣言等を受け、本年3月より店舗等において営業時間の短縮や臨時休業を実施いたしました。緊急事態宣言が解除されたことに伴い、5月末より店舗の営業を再開しておりますが、繰延税金資産の回収可能性の判断および固定資産の減損の判定については、新型コロナウイルスの感染拡大影響が2020年夏まで続くものと仮定し、会計上の見積りを会計処理に反映しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	百貨店業	飲食業	ビル総合 サービス及び 広告業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,821	1,253	687	22,762	183	22,945	—	22,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	71	49	566	688	198	886	△886	—
計	20,893	1,303	1,253	23,450	381	23,832	△886	22,945
セグメント利益又は損失(△)	351	△64	△3	284	15	299	△8	290

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、用度品・事務用品の納入、OA機器類のリース、保険代理業、輸入商品の販売、商品販売の取次ぎ、商品検査業務等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごと資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	百貨店業	飲食業	ビル総合 サービス及び 広告業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,298	983	604	6,886	113	6,999	—	6,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	3	469	512	95	608	△608	—
計	5,338	986	1,073	7,398	209	7,608	△608	6,999
セグメント利益又は損失(△)	△756	△168	25	△898	△11	△909	△50	△959

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、用度品・事務用品の納入、OA機器類のリース、保険代理業、輸入商品の販売、商品販売の取次ぎ、商品検査業務等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△50百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごと資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。